

平成30年度 認知症介護実践リーダー研修 プログラム

目的： 介護現場のチームが、認知症の中核症状と疾患の特徴を理解し、認知症介護の基本理念(利用者中心・尊厳の保持)に基づいた介護が展開できるよう、実践リーダーとしてスタッフを指導し、認知症介護の質の向上の推進役となる指導者を養成する。

- 1 認知症の人の困難さは、認知症の中核症状や本人の心身の状態、生活環境、人間関係など様々な要因が絡み合っていることを理解し、説明できる。
- 2 認知症の人の行動・心理症状(BPSD)の要因や背景を探るプロセス(アセスメント等)を理解し、スタッフに指導できるようになる。
- 3 アセスメント・プランニング・カンファレンス等のプロセスにおいてスタッフの一員として、共に考え、チームケアが展開できるよう、リーダーとしての役割を理解し、実践できる。

平成30年7月3日修正

月日	時間	教科名	ねらい	時間数	講師等(敬称略)	
1 7月10日 (火)	8:40-8:55	受付				
	8:45-9:00	オリエンテーション				
	9:00-10:00	講義 演習	実践リーダー研修の理解	チームにおける認知症ケアを推進する実践リーダーの役割と研修科目との関係性を踏まえ、研修の概要を把握すること。実践リーダーとしての自己の課題を確認、研修における学習目標を明確にする。	60分	認知症介護指導者 講義・進行
	10:10-12:10	講義 演習	認知症の専門的理解	認知症の原因となる疾患別の容態、薬物治療、対応方法等に関する最新かつ専門的な知識を理解する。	120分	大津赤十字病院 神経内科 部長 松井 大
	12:10-13:00	休 憩				
	13:00-14:00	講義 演習	認知症ケアに関する施策の動向と地域展開①	地域包括ケアシステムにおける認知症施策の変遷と最新の動向を把握し認知症施策の具体的な実施方法を理解する。	60分	講義・進行:滋賀県 医療福祉推進課 認知症介護指導者
	14:00-17:15	講義 演習	認知症ケアに関する施策の動向と地域展開②	地域における認知症施策の展開例を知り、周辺地域における地域連携体制の構築に参画できるための知識の獲得を目的とする。認知症の人の家族支援に関する指導目標、知識や技術の評価方法や教育指導方法を理解する。	180分	講義・進行:滋賀県 医療福祉推進課 認知症介護指導者
	17:15 - 17:25	振り返りシート記入				
2 7月18日 (水)	8:30-8:45	受付				
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-12:10	講義 演習	認知症ケア実践リーダーの役割	チームの構築や活性化のためのチームケアのリーダーとしての役割やチームの意味や目的、種類を理解し、円滑にチームを運用する者であることの自覚を促進する。	180分	サンビレッジ大垣 施設長 桑原 陽
	12:10 - 13:00	休 憩				
13:00-17:15	講義 演習	チームにおけるケア理念の構築方法	チームにおけるケア理念の役割を理解し、ケア理念の構築・運用とチーム内の共有化を図るための方法を実践できる。	240分		
	17:15 - 17:25	振り返りシート記入				
3 7月23日 (月)	8:40-8:55	受付				
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-12:10	講義 演習	認知症の人の理解とその教育 認知症ケア倫理の指導	認知症ケアを指導する立場として、指導に関する考え方や基本的態度を学び、認知症ケアの理念を踏まえた指導に必要な視点を理解する。 認知症ケアにおける倫理的課題の解決方法を理解し、チームのリーダーとして必要な認知症ケアの倫理の考え方及び指導の方法について理解する。	180分	認知症介護指導者 講義・進行
	12:10 - 13:00	休 憩				
	13:00-17:15	講義 演習	職場内教育(OJT)法の理解と実際1	認知症ケアの資質向上における人材育成の方法を踏まえ、特に職場内教育の種類、特徴を踏まえた実際の運用方法を習得する。	240分	立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授 岡田 まり
	17:15 - 17:25	振り返りシート記入				
4 8月27日 (月)	8:40-8:55	受付				
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-17:15	講義 演習	職場内教育(OJT)法の理解と実際2	チーム員への指導に有効な技法の種類と特徴を理解し、職場で実践できる指導技術の基本を習得する。	420分	立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授 岡田 まり
	17:15 - 17:25	振り返りシート記入				
5 9月3日 (月)	8:40-8:55	受付				
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-17:15	講義 演習	人材育成の実際① (個へのスーパービジョン)	食事・入浴などの基本的な生活場面において実践者に必要なアセスメントの視点とケア技術を評価するための考え方や方法を学び、適切なケアのできる実践者の指導方法を理解する。 認知症の人の行動・心理症状(BPSD)へのケアに必要なアセスメントの視点とケアの技術を評価するための考え方や方法を学び、適切なケアのできる実践者への指導方法を理解する。	420分	認知症介護指導者 講義・進行
	17:15 - 17:25	振り返りシート記入				

月日	時間	教科名	ねらい	時間数	講師等(敬称略)	
6	9月10日 (月)	8:40-8:55	受付	420分	認知症介護指導者 講義・進行	
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-17:15	講義 演習	人材育成の実際② (グループへのスーパービジョン)			チームケアの質の向上を図るため、カンファレンスの効果的な展開方法を身につけ、チームにおける意思決定プロセスの共有を実現する。
	17:15-17:25	振り返りシート記入				
7	9月26日 (水)	8:40-8:55	受付	180分	福井県立大学大学院 准教授 吉弘 淳一	
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-12:10	講義 演習	スタッフへのストレスマネジメントの理論と方法			チームケアを円滑に運用するため、ストレスの仕組みと対処法を理解した上で、実践リーダーとしてチーム員のストレスの緩和やメンタルヘルスのマネジメントが実践できる。
	12:10-13:00	休憩				
	13:00-17:15	講義 演習	認知症の人への権利擁護の指導			認知症の人の権利擁護に関する指標目標、知識、技術の評価方法や教育指導方法および認知症ケアにおけるリスクマネジメントの指導視点を理解する。
17:15-17:25	振り返りシート記入					
8	10月1日 (月)	8:40-8:55	受付	420分	認知症介護指導者 講義・進行	
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-17:15	講義 演習	人材育成の実際③			多職種及び同職種間での適切な役割分担や連携の方法について、認知症ケアにおけるチームアプローチの方法を理解し、実践するための指導方法を身につける。 認知症の人の能力に応じた自立支援を目的とする認知症の人の生活の質を向上するためのアセスメント及びケアの実践に関する計画の評価方法、指導方法を身につける。
	17:15-17:25	振り返りシート記入				
9	10月15日 (月)	8:40-8:55	受付	420分	認知症介護指導者 講義・進行	
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-17:15	講義 演習	課題設定			研修で学んだことを踏まえ、自施設におけるスタッフの認知症ケアに関する課題を明確にする方法を理解し、課題に応じた能力の評価方法を理解する。
	17:15-17:25	振り返りシート記入				
		自施設職場実習 (2週間)	自施設での実習を通して、自己の設定した課題を達成する。	2週間		
10	10月29日 (月)	12:40-12:55	受付	240分	認知症介護指導者 講義・進行	
	12:55-13:00	オリエンテーション				
	13:00-17:00	講義 演習	実習結果中間報告			2週間の自施設実習を通して、認知症ケアの指導方法の課題やあり方について客観的・論理的に考察・報告し、実践リーダーとして指導の方向性を明確にする
	17:00-17:15	振り返りシート記入				
		自施設職場実習 (2週間)	自施設での実習を通して、自己の設定した課題を達成する。	2週間		
11	11月19日 (月)	8:40-8:55	受付	360分	認知症介護指導者 講義・進行	
	8:55-9:00	オリエンテーション				
	9:00-15:10	講義 演習	実習結果報告			4週間の自施設実習を通して、認知症ケアの指導方法の課題やあり方について客観的・論理的に考察・報告し、実践リーダーとして指導の方向性を明確にする
	15:15-17:15	講義 演習	実習評価・PDCAサイクル次への計画			60分
	17:15-17:30	振り返りシート記入				
	17:30-17:45	修了証交付				